

フルミストとインフルエンザ HA ワクチンの違いについて

(詳細については問診票をご確認ください)

	フルミスト (生ワクチン・点鼻)	インフルエンザ HA ワクチン (不活化ワクチン・注射)
対象年齢	2 歳以上 19 歳未満	生後 6 か月以上
効果	発症・重症化・死亡の予防に一定の効果があり	発症・重症化・死亡の予防に一定の効果があり
効果の持続について	接種後 2 週間で免疫がつくが、持続については添付文書に明記なし	接種後 2 週間で免疫がつき約 5 か月効果あり
副反応	約 25%の方に鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛 約 2%の方にインフルエンザ発症	発熱 打った部分の発赤や腫脹
接種できない方	本剤にアレルギーのある方 37.5 度以上の発熱や体調不良の方 重度の急性疾患や免疫異常の方 免疫抑制剤やステロイド使用中の方 妊娠中の方	本剤にアレルギーのある方 37.5 度以上の発熱や体調不良の方
接種要注意の方	卵・ゼラチンアレルギーがある方 重い喘息のある方または喘鳴の症状のある方（米国では、喘息または喘鳴の既往歴のある 2～4 歳児への接種を推奨していません）	卵アレルギーがある方
要注意の併用薬	サリチル酸系医薬品（アスピリンなど）、ジクロフェナクナトリウム（ボルタレン）、メフェナム酸（ポンタール）	特になし
妊娠との関連	妊婦は接種できません 妊娠が可能な方は、接種後 2 か月間は妊娠をしないように注意	母体および胎児への危険性は妊娠全期間を通じて極めて低い
授乳との関連	授乳自体は可能ですが、インフルエンザをうつす可能性があるため、接種後 1～2 週間は乳児（1 歳未満の赤ちゃん）との接触を可能な限り控えてください。	特になし
接種後周りへの注意	接種後 1～2 週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えましょう	特になし

※要注意の部分に当てはまる方は、医師の問診の結果接種できない可能性があります。

※令和 7 年度の目黒区の子どものインフルエンザ予防接種の費用助成の対象者はフルミストの場合 2 歳（誕生日前日）から高校 3 年生相当まで（誕生日が 2008 年（H20 年）4 月 1 日まで）となっています。